

**南三陸町**  
**住環境の向上に関する提案書**



**平成 26 年 10 月**  
**南三陸町復興計画推進会議**



## まえがき

この先、防集団地や災害公営住宅の完成により、多くの人が高台に住むことになり、次の課題が出てくると考えられます。

- ・商店街や公共施設などと住居が離れる。移動手段がないと引きこもりを招く。
- ・複数の地区から人が集まる団地では、新たなコミュニティを形成する必要がある。

推進会議では、これらの課題を踏まえ、南三陸町の新たな住まい方に対応したより良い住環境を形成していくため、引きこもりがちな人を外に引き出す住環境の整備や、いろいろなサービスの連携が重要であり、これらに柔軟に対応していくことが特に重要と考え、検討を進めました。

今回、復興計画推進会議の検討結果を、以下の3つの視点からみた住環境の向上方策として、提案をいたします。

### <南三陸町の住環境向上 3つの視点>

- 買い物環境の向上
- 移動の利便性向上
- 交流の場の創造

## 買い物環境の向上に関する提案

### ●根本的な課題

- ・高齢者などの買い物をする際の移動手段がない
- ・生活者のための買い物環境整備をしてほしい

### ★推進会議でのアイデア例・事例

事例)平成の森や南方の移動販売  
(2回/週、バラエティにとむ品揃えが鍵)

スーパーにどの団地でも移動販売をするように要望を出す

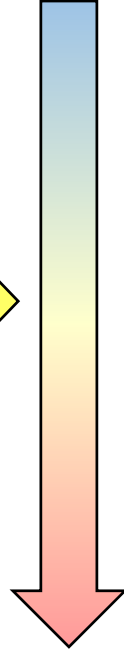
団地集会所で買物できるようにして、ひきこもりを無くす

町民自らが移動販売出来る仕組みをつくる

地域包括ケアと買物をセットした仕組みをつくる

移動カフェをつくる

移動軽トラ市を場所や曜日を変えて実施する



### ●提案の背景・思い

- ・高齢者が安心して買物できる環境で孤立化を防ぎたい。
- ・町民が楽しめる買い物空間整備、生活に必要な品を充実してほしい。

### ●復興計画推進会議からの提案

- ・町民自らが移動販売に参加・協力できる仕組みや移動手段のない人の買い物の支援の仕組みをつくる。(町民主体)
- ・移動販売が小さい団地・集落にも回るようなサービスの展開を、町内事業者やスーパー、社会福祉協議会等をお願いします。(町民・事業者・行政)
- ・ひきこもりを予防するため、地域包括ケアと買い物の機会づくりをセットにした仕組みなどをつくる。(行政主体)

## 移動の利便性向上に関する提案

### ●根本的な課題

- ・現在の町民バスで町民のすべての移動需要はカバーできない(維持費用の限界)
- ・高台団地や統合される学校などでは、新たに移動手段を確保しなければいけない

#### ★推進会議でのアイデア例

小型バスで行ける団地を増やす

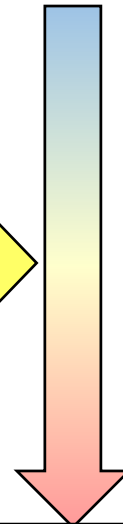
特区申請(規制緩和)をして宅配便も収入源としたバスは運行できないか

児童・生徒と町の人たちが一緒に乗るバスを運行する

一目で町民バスとわかるようなデザインとする

町民相互で助け合って移動手段を確保する

居住地区とまちなかや主要施設を結ぶ移動サービスがほしい



### ●提案の背景・思い

- ・利用しやすい移動交通手段で町民の外出を活発にしたい。
- ・町民が移動に困らないまちにしたい。

### ●復興計画推進会議からの提案

- ・新たなコミュニティでの近所づきあいを大切にし、町民相互で助け合って移動手段を確保する。(町民主体)
- ・人だけでなく荷物も運ぶことにより効率化・合理化を図り、持続可能な交通システムの導入を目指す。(事業者・行政)
- ・児童・生徒や町民、来訪者も一緒に乗ることができ、小さい団地や集落にも行き届く公共交通を実現する。(行政主体)
- ・町民バスのデザインが統一されていないので、一目でわかるようなラッピングやネーミングとする。(行政主体)

## 交流の場の創造に関する提案

### ●根本的な課題

- ・高台団地の新住民のコミュニティ形成が課題
- ・町内の交流の場が限られている

#### ★推進会議でのアイデア例・事例

事例) 公民館や図書館、ふれあい交流館  
(観光協会2階)で多世代が交流をしていた

事例) 米沢市で民間団体が  
移動図書館カフェをやっている

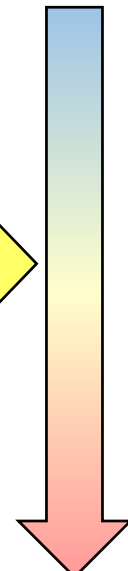
集会所の鍵を開けなくても交流ができるよう  
高台団地の集会所の縁側を広くしてもらった

高台や低地部で町民ふ  
れあい農園を確保する

農協でやっていた朝市を  
町内で順番にやっていく

祈念公園でグラウン  
ドゴルフを行なう

住民主体の交流活動を  
報告する場を確保する



### ●提案の背景・思い

- ・高台団地で新たな地域コミュニティが生まれ、育まれているようにしたい。
- ・ふれあい農園やスポーツを通し町民の交流を活発にしたい。
- ・商店街や公共施設等まちのいろいろな所に交流の場があってほしい。

### ●復興計画推進会議からの提案

- ・各団地の集会所を相互利用でき、有効活用できる仕組みやルールを決める。(町民主体)。
- ・地域スポーツ活動や町民ふれあい農園活動などで町民同士の交流を一層活発にする仕組みをつくる。(町民主体)
- ・商店街の一角、役場等の公共施設への交流スペースを設置する。(事業者・行政)  
集会所に図書コーナーを設けるなど、住民が自由に集まれる交流スペースを設ける。(町民主体)
- ・町の広報誌などで住民主体の交流活動を情報提供する。(行政主体)

## <参考資料>

### 1. 住環境の向上の提案までの道すじ

住環境の向上の提案までの道すじを整理します。

- ・第8回推進会議：検討テーマの設定、町の住まい・くらしの状況
- ・第9回推進会議：住環境向上についての事例学習・話し合い
- ・第10回推進会議：住環境向上についての意見・要望の話し合い

#### 第8回推進会議：会議の進め方と検討テーマの設定(平成26年5月)

- ・提言・要望の進捗状況(報告)/会議の進めかたと検討テーマについて
- ・町の住まい・くらしの状況(事務局資料確認)と課題についての話し合い

#### 第9回推進会議：住環境向上についての事例学習・話し合い(平成26年6月)

- ・住環境に関する課題への取組み事例(事務局資料)
- ・事例などに対する感想と「私たちはどうするか」の視点からアイデア出し

#### 第10回推進会議：住環境の向上に関する意見・要望の話し合い(平成26年7月)

- ・住環境向上に関する話し合いとグループ発表

町に提案(10月)

#### <第8回推進会議(平成26年5月)>

第8回推進会議では、検討テーマについて話し合い、事務局資料をもとに、町の住まい・暮らしの状況について話し合いをしました。

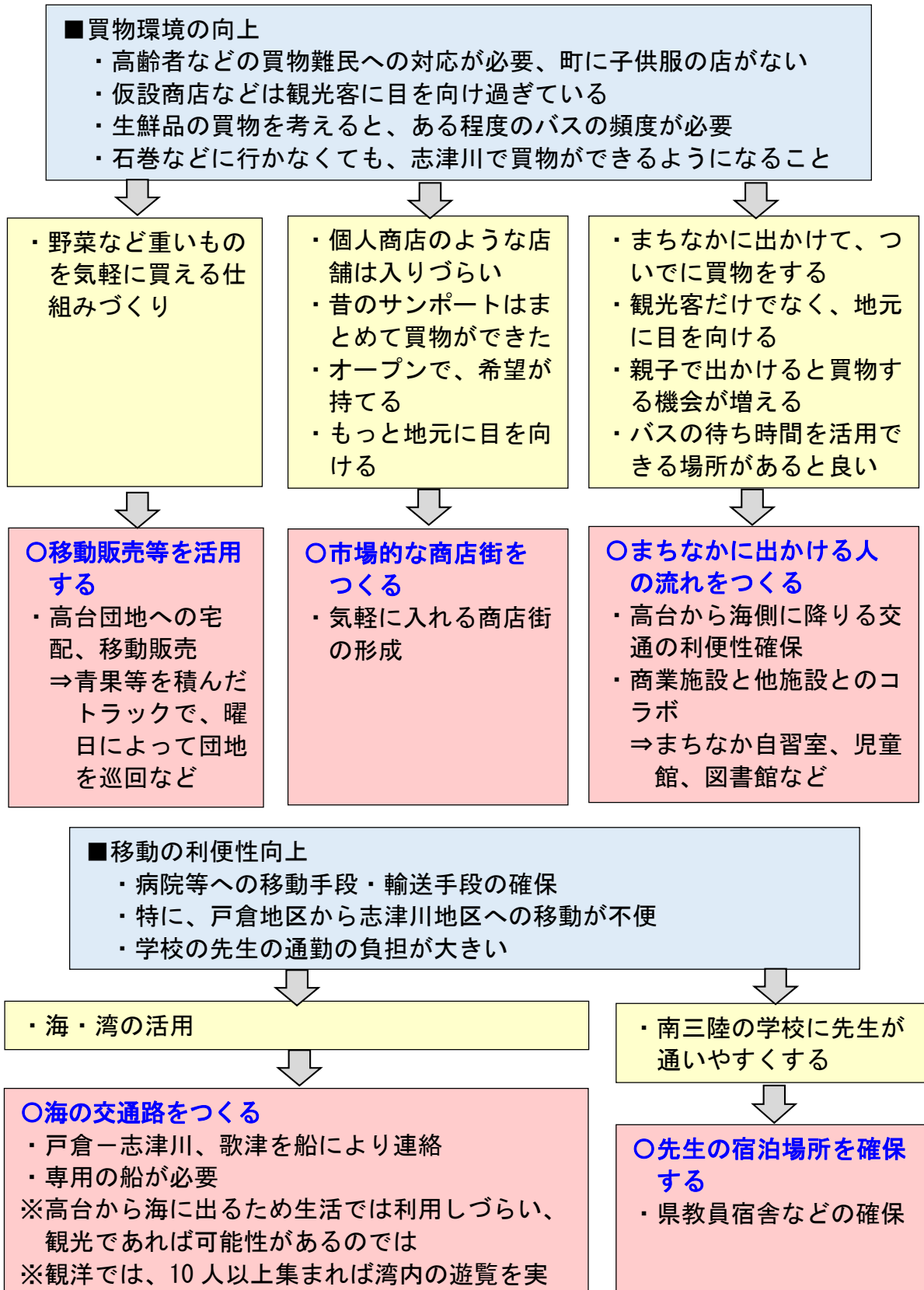
#### <第8回グループ討議結果のまとめ>

- ・高齢者の買い物の利便性向上のため、生鮮品を買えるスーパーが近くにほしい。
- ・高齢者の入院や通院が大変な状況が続いており、医療施設と団地をカバーする需要に合った運行ができるような暮らしの足があるといい。
- ・これからのコミュニティをどう育てていくかが重要であり、顔が見える介護などを通じてコミュニティを育てていくことなどが必要。
- ・若い人の就業の場の確保が必要。
- ・地域消防団の担い手を確保することが必要。
- ・高齢者の住宅資金が課題。(入居時に70歳を超えていると融資を受けるのが難しい)。
- ・消費税が上がり坪単価が高くなったため、予定よりも多くの住宅再建資金が必要。
- ・小規模の団地には集会所がなく、話し合う場所がない。
- ・高台移転には、自分たちも責任を持たなくてはいけない。

<第9回推進会議（平成26年6月）>

第9回推進会議では、「高台団地・住宅に住むときの暮らしの課題とアイデア」について討議しました。討議で出された意見をまとめると、以下のようになります。

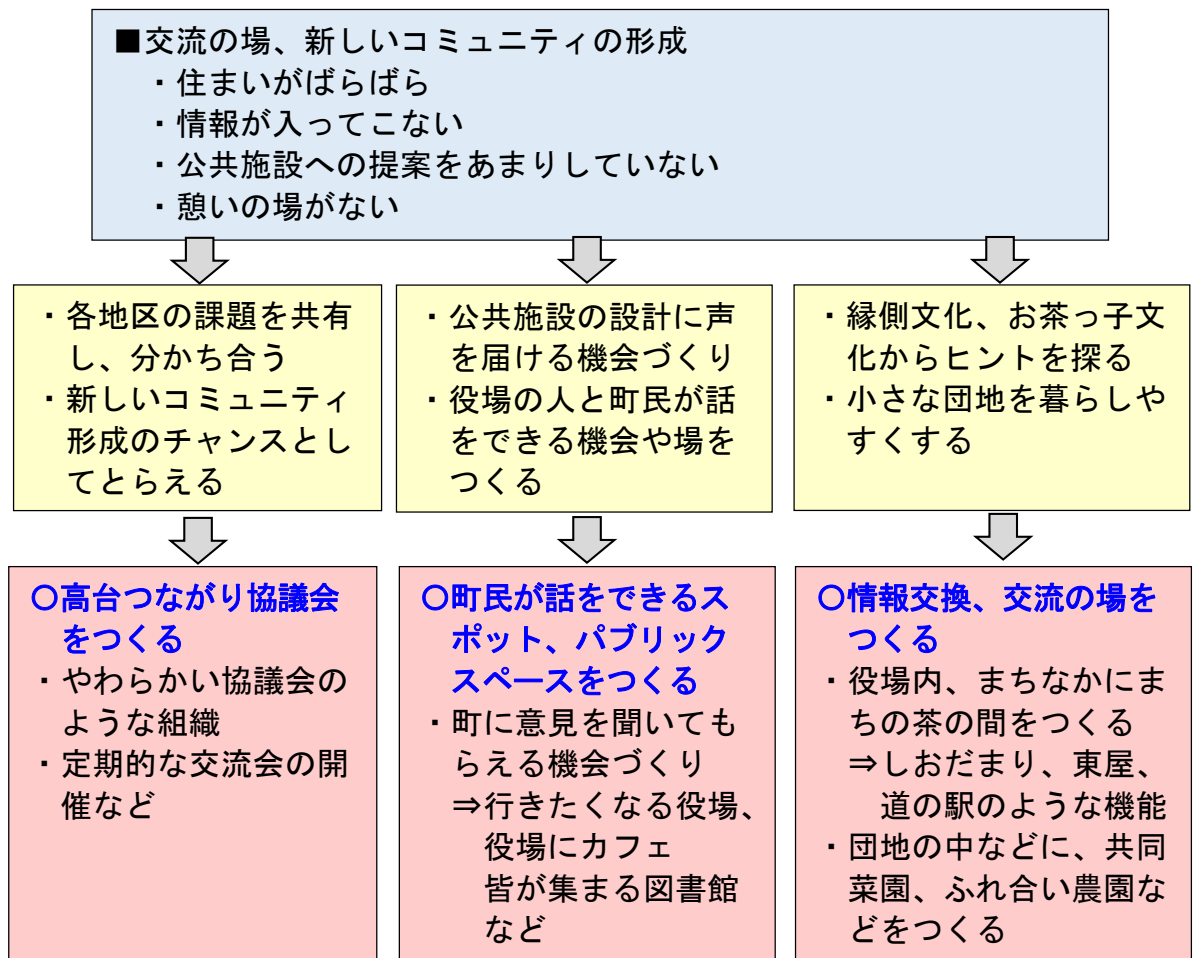
① 高台団地・住宅に住むときの「暮らし」を便利にするための「アイデア」



課題      考え方      解決策



②高台団地・住宅で快適な暮らしを送るための「アイデア」



■ 課題    ■ 考え方    ■ 解決策